

広島県トランポリン協会とは

広島県トランポリン協会は日本トランポリン協会の要請により、昭和62年（1987年）に発足。同年福山市備後ハイツにおいて西日本トーナメントが開催された。さらに翌年、広島市サンプラザにおいて全日本選手権を広島県トランポリン協会が主管した。当時の入賞者で女子第二位は古章子（現丸山章子）、男子第三位は福井卓也。この両名は、その後全日本チャンピオンになりオリンピックにも出場し、現在は金沢学院大学教授として後進の指導に当たっている。こうして時代は移り変わり、2002年全国スポーツレクリエーション祭（文部省・労働省共催）の「トランポリン」（宙返りのないシャトルゲーム）が福山市に合併前の芦品郡新市町で行われることに決まった。しかし、広島県には指導者がいない。そこで岡山県から昭和42年（1967年）全国学生選手権で優勝した清板信文氏をコーチとして迎えて指導して（2～3回／週）いただくことになった。一年間の指導のたまもので、この大会で広島県のチームが全国第二位になることができた。その後、当時の藤原平町長を広島県トランポリン協会会長として推戴することになった。さらに、2007年のスポーツレクリエーション大会（青森県）では広島県が強豪神奈川県に勝って優勝することができた。このように参加者が20才以上の男女6名で行われた大会も「行政改革」の結果2011年（第24回栃木県開催）を最後に終了した。詳細は省くが、国際トランポリン連盟(FIT)が国際体操連盟(FIG)と合併したので、日本も同様に日本トランポリン協会が日本体操協会と合併することになった。こうして、トランポリンにオリンピック枠と国体枠ができ、各々に参加することができるようになった。

現在では、競技会、指導員・審判員の養成を行っており、チャンピオンスポーツからレクリエーションと子供達から高齢者までの幅広い年齢層にわたって活動を続けている。

■競技トランポリン

- ・オリンピック、世界選手権、全日本選手権等を目標にした選手養成

■レクリエーショントランポリン

- ・生涯スポーツとして宙返りのない「シャトルゲーム」の指導、全日本シャトル大会参加

■各種トレーニングとしてのトランポリン

- ・年齢にかかわらず身体の空中感覚、バランス感覚の養成
- ・30段階までの技術習得状態を表す「バッジテスト」の開催
- ・障害のある方のリハビリ運動の指導
- ・その他、各種競技における空中姿勢制御技術（宙返り、ひねり等）修得を目的に（スノーボード、器械体操、高飛び込み、エアリアルスキー、バレーボール、ハンドボール等）に適用

■普及、広報活動

- ・教室の開催、指導者派遣、実演会の企画、選手派遣その他トランポリン運動に関わる活動